



2024年

病児保育だより

青空と新緑がまぶしい季節になり、今年度もスタートして早くも一か月が経ちました。
5月は大型連休もあり、新年度始めの疲れが出やすい月でもあります。
十分な睡眠、栄養をとって体調管理に気を付けていきましょう。

溶連菌(溶血性連鎖球菌)について

溶連菌という細菌に感染することによって、かぜ症候群と呼ばれる上気道感染症や皮膚の化膿を引き起こす感染症です。
主に小児に多く見られますが、大人にも見られるため注意が必要です。

★おもな症状

- ・発熱(38℃以上)
- ・リンパ節の腫れ
- ・倦怠感
- ・くしゃみ、咳、鼻水が出にくいのも特徴です。
- ・のどの痛み(のどの奥に白い膿がみられることも)
- ・舌の表面に赤いぶつぶつ(いちご舌)
- ・時々吐き気を伴うことも

★潜伏期間・感染経路

潜伏期間は2日～5日で、感染経路は「飛沫感染」と「接触感染」ですので、手洗いやうがいの徹底・アルコール消毒に加えて、飛沫感染を予防するためのマスクの着用をすることで感染拡大を予防することができます。

★出席停止のめやす

適切な抗菌薬による治療開始後24時間以降、かつ解熱後

★治療方法

細菌性の感染症である為、抗菌薬による治療が有効です。
再感染することもあります。

★溶連菌の怖いところは合併症です★

肺炎や髄膜炎・敗血症などの重症化や、リウマチ熱・急性糸球体腎炎・結節性紅斑などの感染症とは異なる合併症が出ることもあります。
特に「リウマチ熱」「急性糸球体腎炎」は、溶連菌特有であり、注意が必要な合併症です。

合併症予防の為に、
抗菌薬を飲みきることが大切です！
再診をきちんとしましょう！！

◆4月にご利用された方の病気◆

- ・溶連菌
- ・上気道炎
- ・気管支炎
- ・

いけだ小児科

お気軽にお問い合わせください

☎080-8587-6253

